999
さよなら
銀河鉄道999
—アンドロメダ終着駅—

前作「銀河鉄

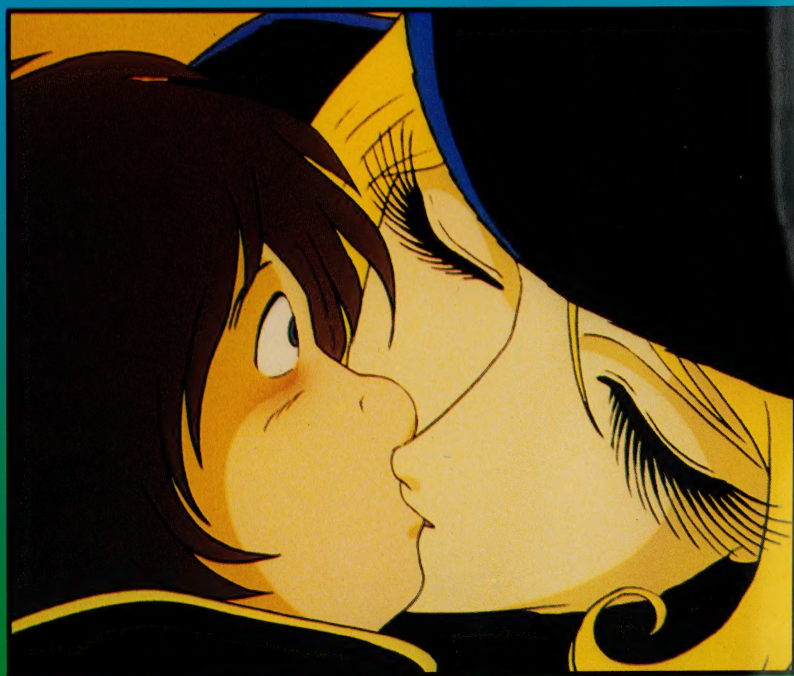
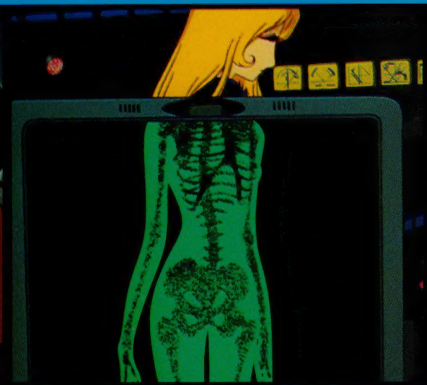
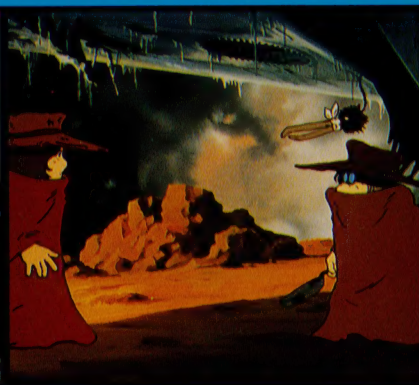
――あの感動の

広大無限の宇宙空間を走る銀河鉄道999。ひとはみなこの列車にのって、それぞれの夢と希望を追い求める。

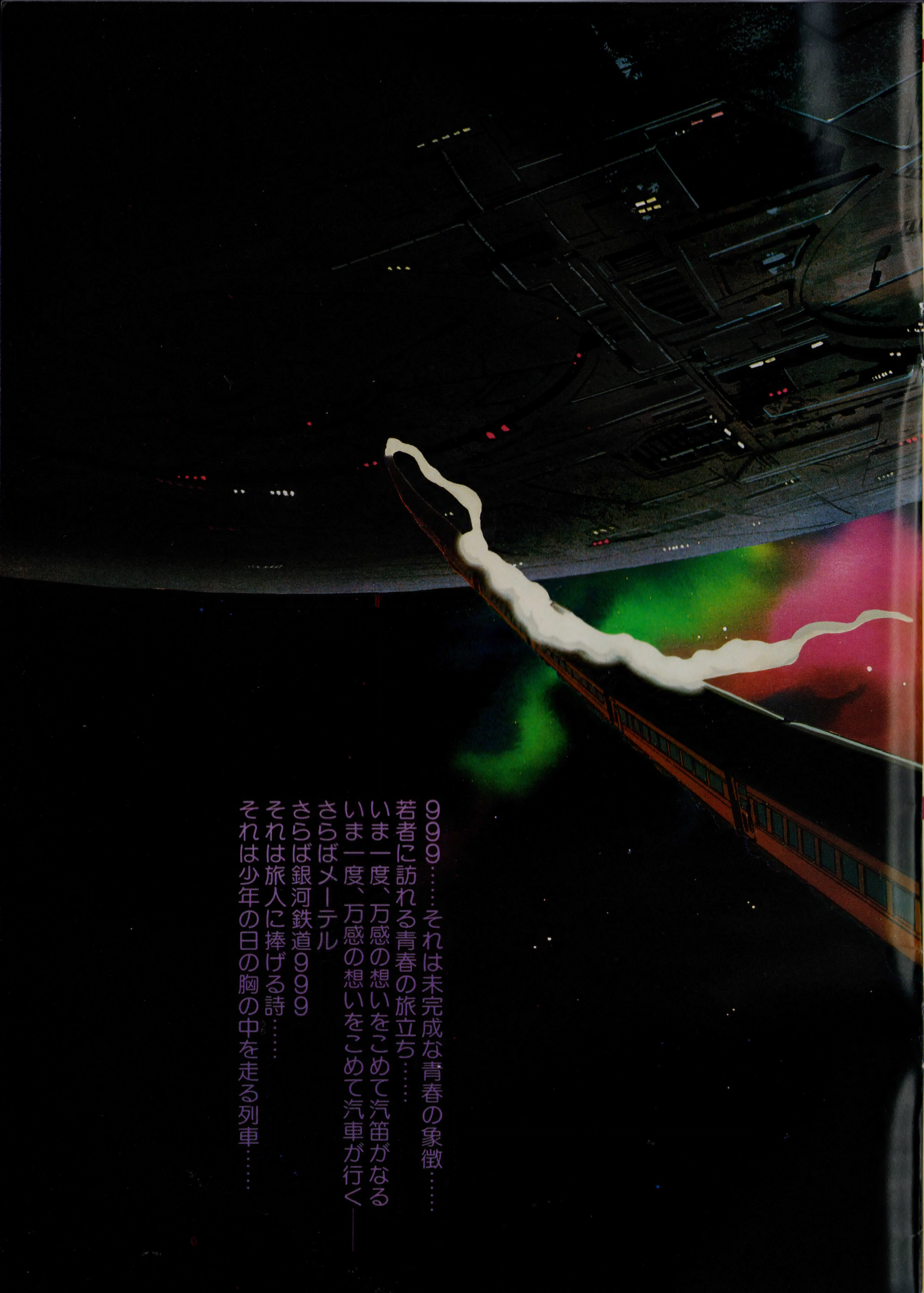
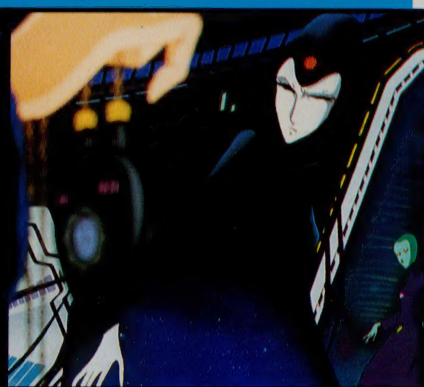
そして、母を機械化人の手で殺され、孤児となった少年、星野鉄郎は復讐に燃え、自らも機械の体を手に入れるため、謎の美女メーテルと共に果てしない宇宙へ旅立った…

最初の停車駅タイタンで、山賊アンタレスと出逢い、また老女から彼女の息子トチローの持物だった戦士の銃をもらう。

さらに氷の星冥王星をすぎ、トレーダー分岐点では、トチローの死をきっかけに、憧れのハーロックやエメラルダスとも知りあった。

そして時間城でめざす母の仇、機械伯爵を射ちとったが、限りある命の尊さに気づいた鉄郎は、機械

道999」はプロローグだった…

名場面をもう一度――

人間を作り続けているアンドロメダへのりこんでいく。
そしてそこの女王プロメシュールが、メーテルの母と知るが、鉄郎はメーテルと共に闘い抜いた。やがて戦いはおわり、一緒に旅してきたメーテルと鉄郎の別れの日がきた。
涙ながらに見送る鉄郎をあとに、メーテルは999にのって再び宇宙のかなたへと旅立っていったのだった……。

※あの日、二人の別れに涙してからはや2年の歳月が流れ、いままた、懐しいメーテルと鉄郎がスクリーンに登場することになりました。前作だけでは描ききれなかった部分や、ナゾにつつまれていたミステリーのすべてをここで明らかにしようという意図のもとに作られたのが、今回の「さらば銀河鉄道999」です。

ひとつの旅は終り
また新しい旅が
はじまる……
さらば少年の日よ――

999……それは未完成な青春の象徴……
若者に訪れる青春の旅立ち……
いま一度、万感の想いをこめて汽笛がなる
いま一度、万感の想いをこめて汽車が行く——
さらばメーテル
さらば銀河鉄道999
それは旅人に捧げる詩……
それは少年の日の胸の中を走る列車……

◆スリーナインの完結編にあたって――

「さらば私のメーテル、さらば銀河鉄道999」

企画・原作・構成　松本零士

前作で描いた「少年の旅立ち」は、鉄郎の意志もありましたが、むしろ彼を導くメーテルと宿命的に結ばれた旅でした。

この最新作は、鉄郎が自分自身の意志で命がけで運命を切りひらいていくという、きびしい状況の中を旅立っていくわけです。

今回、なぜ続編を作るかというと、決して前作がヒットしたからという理由ではありません。前作では、ひとつの旅が終って帰ってきた時に、実はこれは青春の経験を積んだということはあっても、機械帝国の問題については何ひとつ解決していなかったのです。そこまで描かないと、ひとつの物語の終りにならないと考えたからです。

ですから今回の「999」は、少年の自立編ともいうべき形で進行し、今までナゾになっていたすべての部分を明らかにします。

メインテーマとしては、「999」の物語全体を貫いている「限りある命の讃歌」です。

これは、少年の日を支えた夢や希望に相当するメーテルという存在が、形を変えた「青春の幻影」ではなかったろうかという問いかけと、限りある命の流れ、それは親から子へ、子から孫へ絶えることなく受けつがれていく命というものがどんなものかを、ストレートに描きたいということからきているわけです。

「銀河鉄道999」というのは、私の青春とダブった作品だと思っています。それは、鉄郎にたくした自分自身の青春そのもの、自分も999に乗って、メーテルや車掌と一緒に旅をしているという想いが、いつもつきまとっている作品なのです。

ですから、これは私の他の作品の中でも、特に「四畳半」ものや「男おいどん」から続いてきたひとつの流れが、そのまま999に受けつがれていったといってもよいでしょう。

そういう意味では、私にとって始めもなければ終りもない物語になるということも考えられるのです。

しかし、そうはいってもいくら愛着があるとはいえ、物語というのは起承転結があり、始まりがあればいつか必ず結末がくるのは当然のことです。ここで、私自身ひとつの区切りをつけるためにも、とりあえず「999」とはおさらばしようと思ったわけです。

恵まれた状況のもと、体も元気がいい時点で精一杯がんばって結末をつけられるのは幸せといえば幸せですが、やはり感慨無量です。と同時に、別れるつらさを味わっています。

私自身、実際にメーテルと別れてしまうような淋しさがあります。「999」に別れることは、私にとってメーテルと別れることなのです。永遠に……

そして、この先、「999」を私の胸の中に走らせながら、新しい劇場用映画作品（「1000年女王」や、それに続く「わが青春のアルカディア」）などに気持をふり向け、同時に本来の仕事である漫画を描きながら進みたいと思っています。これから先は「999」を土台にして進みたい、そのためにここで結末をつけるということでもあります。

「999」が完結という形をとったあと、もし、その続きがあるとしたら、それは映画を観て下さったみなさんの心の中にお渡しすることでしょう。そして、みなさん一人々々の心の中で、それぞれ別々の999を走らせていただけたら、私にとってこんな幸せなことはありません。

それが、先ほどを言いましたテーマである「限りある命の讃歌」と同じように、親から子へ、子から孫へといった生命の流れのように、いつまでも語りつがれ走り続ける列車であってほしいと思うのです……。

解　説

1979年夏、日本中をスリーナイン・ブームにつつみこみ、爆発的大ヒットとなった、おなじみ松本零士原作の「銀河鉄道999」の続編の登場である。

当時、国鉄とタイアップしたミステリー・ツアーが話題となり、その後も全国でミステリー列車が走りまわったことも記憶に新しい。

前作は、ひとりの少年星野鉄郎が、永遠の命を求めて謎の美女メーテルと共に、宇宙の旅に出て、やがて短い生命ゆえの尊さを知るという「少年の日の旅立ち」がテーマだったが、今回のオリジナル最新作は、それに続く物語として構成されている。

テーマとしては「少年から大人への成長」を中心に描いており、言葉をかえれば「自立編」ともいえるべき内容になっている。

時が流れ、星野鉄郎は、機械化人により占拠されつつある地球を救うため、再び999にのり、ひとり最後の旅に出る。そして、はるか遠い宇宙でメーテルとの再会、さまざまな人とのふれあい、戦いの中で、少年の日の感傷を通りすぎた大人への自覚にめざめ、再び新しい未来へ旅立っていく……。

そんな中で展開される数多くのスリルとサスペンス、はなばなしいアクション、そして「銀河鉄道999」がもつ、独特のムード、愛とロマン、青春の感動などが、前作をはるかに超えたダイナミックな面白さとスケールで描き出される。

特に、見せ場として「銀河鉄道999」に関するすべてのナゾやミステリー（たとえば、メーテルと鉄郎との結末、宇宙特急スリーナインの行方、車掌の正体など）が、この映画の中で明らかにされ、それらはひとつひとつが観客のドギモを抜くという仕掛けになってあらわれる。

さらに、ストーリー上、鉄郎の身の上にアッといわせる設定も用

意されており、ドラマもラストに向かうに従って、二重三重のどんでん返しがあるなど、まさに息もつかせない構成でファンを魅了するに違いない。

すべてのナゾが明らかにされるということは、前作の続編というよりも完結編といってよく、もう二度と再び銀河鉄道999は作られない。これが最後だという意味でもある。

登場キャラクターは、星野鉄郎の他、ご存知、謎の美女メーテルをはじめ、スリーナインの車掌、そしてキャプテンハーロック、エメラルダスなど前作でおなじみの顔ぶれに加えて、新顔のウエイトレス、メタルメナ、機械化人に抵抗するラーメタル星の若者ミャウダー、さらに、不気味な存在である黒騎士といった新しいキャラクターが登場する。また、前作で消えたはずのプロメシュームが再び想像もできない形で登場してくる。

スタッフは前作と全く同じで、スリーナインに関して、これ以上のベスト・スタッフはないといわれるほどの精鋭ぞろいだ。

製作総指揮に今田智憲、企画・原作・構成松本零士、企画有賀健、高見義雄、脚本を山浦弘靖、作画監督は小松原一男、美術に椋尾篁、そして監督は、前作でその才能をフルに発揮したりん・たろうが当っている。

また、音楽を担当するのは、シンセサイザーを使っては当代一流の東海林修が新たに加わっている。なお、前作では主題歌をゴダイゴが歌って大評判をよんだが、今回は、80年度の第11回世界歌謡祭で「風に消えた恋」を歌ってグランプリを獲得した、アメリカの新進歌手メアリー・マッグレガーを起用した。澄んだ美しい声で、999のロマンとスケールをあざやかにうたいあげているのが大きな話題となっている。

前作を凌(しの)ぐ面白い映画を…

監督 りん・たろう

あれから二年………

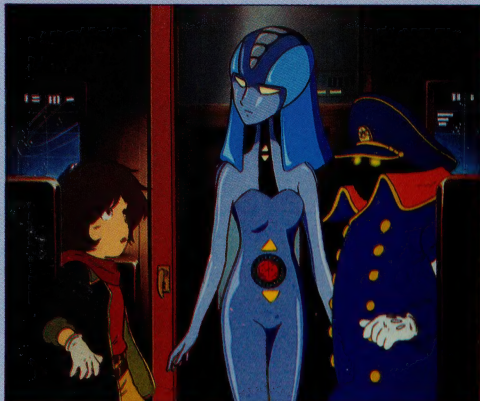
いま再び『銀河鉄道999』は涯(はて)しない宇宙に向って、最後の旅に出ることになった。

ブオオオオオ…………………。

さて、そこで───。

最後の旅と大上段に振りかぶってスタートした以上、こちらも相応の覚悟をしなければ、観客の皆さんが承知すまいと思う。それに第一、私自身に前作を超えるだけのパッションがなければ空振りしてしまう。といった強迫観念が優先し、絵コンテ作業の間、軽い鬱状態に悩まされ続け、挙句の果ては『映画』は観て愉しむ方がいいなァ……と愚痴(ぐち)る始末。

然し、高見プロデューサーの鼓舞激励と尽力で、前作と同じ気心知れたスタッフでチームを組んで貰い監督をする立場としては申し分のない状況である。そこで緊褌(きんこん)一番奮起して、前作を凌ぐ面白いアニメーション映画を作らなければいけない訳だが、これが案外と苦しい作業である。が、同時に愉しい作業でもある。この様なサディスティックな気分を常に味うのが映画製作の醍醐味(だいごみ)というものなのだろうと思いつつ、製作現場に臨(のぞ)んでいると、頭の中でモヤモヤしている映像が次第に鮮明になり、モノクロームからカラーへ色付き始め、静かにゆっくりと音楽が流れ、やがて大編成が奏でるシンフォニーの昂(たか)まりに乗って銀河の彼方へ鮮やかに駆けめぐって行く。

メーテルと鉄郎は？　999は？ いまこそ、すべてのミステリーがあきらかにされる！

あれから……

地球に帰りついた星野鉄郎を待ちうけていたのは、機械化人とわずかに生き残った人間との血みどろの戦いだった。老パルチザンのもとで、鉄郎もまた武器をとって戦っていた。

そんなある日、メーテルからのメッセージカードが届いた。そこには、メーテルの声で「鉄郎、スリーナインに乗りなさい……」というメッセージが入っていた。

老パルチザンたちの捨身の援護で、鉄郎は再びスリーナインに乗りこんだ。

くずれ落ちる線路をあとに、鉄郎を乗せた999は、再び果てしない宇宙へ――。

懐しい車掌に再会した鉄郎は、メーテルは乗っていないこと、999も昔とはすっかり変り、今や完全にオート・コンピューター化され、機関車による自動操縦で、行き先は車掌にも分らないということを聞いた。

そして、車内にはもう一人、機械の体をもつ新しいウエイトレス・メタルメナが乗っていた。

999は宇宙の闇の中を走り続けた。と、突然、謎の幽霊列車があらわれ、999をおびやかしていく。

やがてたどりついた最初の停車駅は、ラーメタルという星だった。

この星こそメーテルの生まれ故郷だと、メタルメナに教えられた鉄郎は、秘かにラーメタルにおりたつが、すぐに機械化兵に見つかってしまう。

傷ついた鉄郎は、危いところをこの星の抵抗軍兵（レジスタンス）ミャウダー達に救われる。彼らも又、追いつめられながらも、必死に機械化人に抵抗しているのだ。父親の形見のオルゴール時計をいつも身につけながら戦いつづける若者ミャウダーと、鉄郎は深い友情を誓うのだった。

そのミャウダーから鉄郎は信じられない噂を聞いた。〝メーテルこそプロメシューム。メーテルがプロメシュームの跡を継いだというのだ〟……。

ラーメタル星の激戦を、キャプテン・ハーロックの空からの援護と、ミャウダーの活躍で切りぬけた鉄郎は再び駅に戻った。

そして、999に乗りこもうとした時、999の吐く白い蒸気の中から、かげろうのように黒衣の女性が姿をあらわした。忘れもしないメーテルだった。

ようやくの思いめぐりあった二人だったが、メーテルはメッセージカードをことづけた訳を語らないばかりか、なぜか、鉄郎に早く999を降りるようすすめるのだ。

そして、ミャウダーから聞いたあの恐ろしい噂を問いつめる鉄郎に、哀しい表情を見せるだけだった。そんな二人の会話をメタルメナがそっと盗みぎきしていた。

やがて、突然、自由軌道を行く装甲車が999の行手をはばみ、コントロール・センターへ急停車させた。この怪異な宇宙の古城コントロール・センターを支配するのは、暗黒の男、黒騎士であった。

しかし、鉄郎は黒騎士の言葉に耳もかさず、逆に戦いを挑んでいった。闇の中で二人の死闘が続いた。その時、闘いをとめようとしたメーテルは傷ついて倒れてしまう。やがて、鉄郎の銃が黒騎士をつらぬくと、彼はコントロール・センターもろとも粉々になって消え去ってしまった。「お前の旅は…絶望に向っている。その行先はメーテルと999だけが知っているのだ……」といい残して……。

コントロール・センターの崩壊にまきこまれ、宇宙へ投げだされたメーテルも、あわやのところでエメラルダスに救われる。

やがて、999が次の停車駅惑星モザイクに近づいたとき、病いえたメーテルは、突然鉄郎に言った。

「私、一緒にモザイクで降りてもいい……あなたさえよければ、どこかの惑星で死ぬまで一緒に暮らしてもいい……」

モザイク星はアンドロメダ大星雲の入口の星だ。

地球へ戻るにはここが最後のチャンスだという。そこを過ぎたら二度と戻れないとメーテルは真剣な表情で鉄郎の決意を促した。

しかし、鉄郎にはまだ知りたいことがいっぱいあった。〝999によびだしておきながらどうして今更おりろというのか〟〝999はどこへ行くのか〟〝メーテルの本心は？〟

その時、前に出会った幽霊列車がこのモザイク星を通りすぎていった。そこに確かにあのミャウダーのオルゴール時計の音が聞えた。ミャウダーが乗っているのか？一体、幽霊列車とは何物なのか？すべてが鉄郎にとってミステリーだった。

惑星モザイクを出発したあと、メーテルは999の終着駅を告げた。それは惑星大アンドロメダ。そここそが全宇宙を支配する機械帝国の首都だった。そしてなおも秘密を打ちあけた。メッセージカ

ードは鉄郎をおびきよせるための偽物だと、だが自分としては決して鉄郎を行かせたくなかったのだと……。

もはや戻ることはできなかった。鉄郎にとって、そこに何が待ちうけていようとも、後戻りはできない。そして、今まで命を投げうって闘ってきた人々のためにも、地球のためにも、自分のためにも、必ず生きて帰らなければならない。

やがて999は、ついに終着駅、惑星大アンドロメダへ着いた。ホームに到着すると、消えたはずの黒騎士が迎えに出ている！さらに、機械化人たちの間で「新しい女王陛下メーテルさま　万才！」の大歓声がわきあがった。

予想もしなかった出来事に鉄郎は驚き、やがて、激しい怒りがこみあげてきた。

「なんのために一緒に旅をして来たんだ！なんのために……」

そのとき、メーテルからの迎えが鉄郎にきた。鉄郎たちを乗せたエアカーは壮厳な大寺院に横づけされ、その前にメーテルが待ちかまえていた。そこは女王しか入れないプロメシュームの命の炎が燃えさかる惑星大アンドロメダの中心部だ。メーテルに案内された鉄郎は、中へ入って慄然となった。ここここそ、人間の命の火を抜き取り、機械化人のエネルギー源・生命のカプセルを生産する工場だった。そして幽霊列車とは、生身の人間の体を送り込む輸送列車だったのだ。だが、ぼう然と立ちつくす鉄郎を更に驚かせたのは、生命の火を抜き取られ屍となった人間の中のミャウダーの姿だった。亡骸(なきがら)を抱きしめる鉄郎の眼から大粒の涙がこぼれた。しかし、メタルメナはあざけるように立っていた。怒りにうち震えた鉄郎はメタルメナに迫った。

「何が永遠の命だ！人の命の犠牲の上になり立つ楽園なんて！」と、そのとき、銃を構えた機械化兵の一団がなだれ込んだ。すると驚いたことに、疾風の如くメタルメナが走り出し、機械化兵に立ち向った。そして鉄郎がそれに続いた。凄じい光線が交差し、次々に巨大マシーンが火を吹き崩れていった。

だが、そのとき次第に異様な振動が大寺院を襲い始め、壁や床に亀裂が走った。炎に包まれる中で、大寺院が大きく崩れた。パルチザン達、メーテル、鉄郎は発車する999にとび乗り、最後の力で鉄郎を慕い追ってきたメタルメナが後に続いた。炎の上を999が驀進する。それを追い、砲撃を浴びせる戦闘衛星が飛び立った。粉々になる車両。だが、出現したアルカディア号とクィーン・エメラルダス号がこれに応じた。

しかし、そのとき大きな力に引き付けられるように客車が傾き、アルカディア号、エメラルダス号も吸い寄せられていった。不気味な存在が近づきつつあった。それは空間を圧するようにゆっくりと回転する巨大な暗黒彗星、異質のエネルギーを求めて宇宙を彷徨(さまよ)うサイレンの魔女だ。プロメシュームが宇宙の仕組みを変えたために、今、機械エネルギーを求めてやってきたのだ。

鉄郎は運転席に走り込んだ。強大な吸引力と戦うように猛然と煙を吹き上げる999。刻一刻と近づくサイレンの魔女。突然、その中に黒騎士が現われ、炭水車の上に立った。鉄郎がそれに対決した。見守るハーロックとエメラルダス。闇に包まれる999。するとミャウダーのオルゴールが鳴り、一条の閃光があった。と同時に、仁王立ちの黒騎士の姿が光を浴びて舞いあがっていった。立ち昇る竜巻に「さらばだ、息子よ」と言葉を残し、みるみる消えていった。次第に遠ざかるサイレンの魔女。惑星大アンドロメダは青白い球体となり、ついには暗く、光を弱めて消えていった。

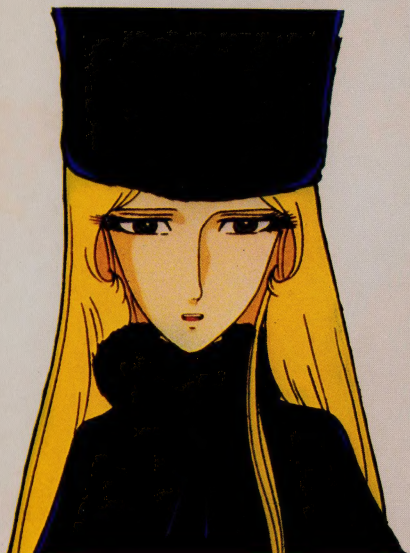
宇宙に静寂が戻り、999はラーメタル星に停車した。そこにはミャウダーの墓があり、そして赤錆びた宇宙船があった。それはメーテルとその母プロメシュームが共に旅をした宇宙船だった。すがりつき、涙を流すメーテルを、鉄郎はただ見守るばかりだった。

地球へ戻るときがきた。メーテルと共に……。地球行きのプラットホームで、車掌は笑って自分の体を見せた。機械でも人間でもない透明人間だった。

ベルが鳴った。鉄郎を先に乗せて後から乗ろうとするメーテル。だが、そこにエメラルダスの声がした。

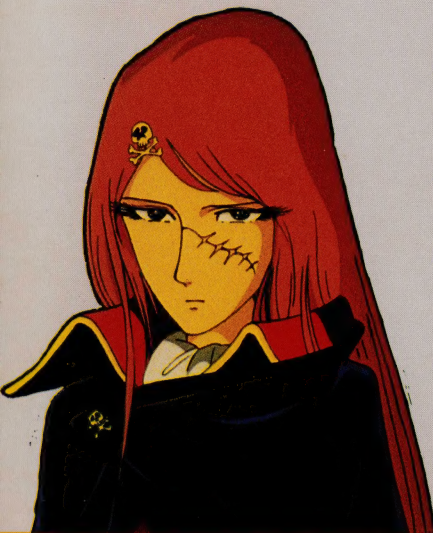
「あなたは、鉄郎と一緒に行くことは出来ないわ。私たちの旅に終りはないわ……」

ゆっくりと999は動き出した。白い蒸気が流れ、メーテルの手からするするとトランクが落ちた。メーテルの瞳に涙があふれた。それを知らぬかのように、喜びを胸にいっぱいにした鉄郎が窓の外をながめていた。窓の外の風景が流れた。と、その中にメーテルの姿があった。愕然となる鉄郎。ホームにたたずむメーテルの姿が後ろへと流れていく。すがるように手すりにつかまる鉄郎に汽笛が鳴った。999は速度を増して星の海へ消えていった。

メーテル

鉄郎にとって、ともに宇宙を旅した忘れ得ぬ面影のひと。かつて母である女王プロメシュームと対決しなければならなかった哀しい女性でもある。どこからともなくスリーナインに乗り込み、再び鉄郎と旅を続ける。

星野鉄郎

人間の《限りある命》の尊さを知り、それを守るため戦う少年。自らの手で倒したはずの女王プロメシュームとその機械帝国の謎を解くため、再びスリーナインで果てしない宇宙へと旅立つ。

エメラルダス

宇宙をさすらう女海賊。クイーン・エメラルダス号の艦長。男まさりの戦いぶりで恐れられている。鉄郎とメーテルには、なぜか深い共感を抱き、何度か二人の危機を救う。

メタルメナ

スリーナイン食堂車で働く機械化人のウエートレス。行先不明のスリーナインに、何の目的で乗り込んできたのか、かげのある冷たい少女。いつもメーテルに鋭い視線を走らせている。

ミャウダー

惑星ラーメタルのゲリラ兵。父親の形見であるオルゴール時計を肌身離さず、その仇・機械化人と勇敢に戦っている。同じような身の上の鉄郎とは、同志として深い友情で結ばれる。

車　掌

スリーナイン号に乗務しているおなじみの車掌。すっかり荒れはてた銀河鉄道で今も働いているがその誠実で冷静な人柄はかわらない。ただ、乗務員服の下にある真の姿は、鉄郎にもだれにも見せたことがない。今回、その正体を明かす。

キャプテン・ハーロック

若者の憧れの英雄。四十人の部下を従え、アルカディア号に乗って宇宙をかけめぐる大海賊。機械帝国と壮烈に戦い続ける宇宙の戦士でもある。鉄郎のことを心にかけ、温かく見守っている。

彩る華やかな顔ぶれ

黒騎士

鉄郎の行手をはばむ謎の男。奇怪な宇宙城コントロール・センターの城主。黒衣に包まれた体からは無気味な機械音が聞こえてくる。その恐るべき正体は……。

老パルチザン

地球に残ったわずかな仲間とともに、機械化人への抵抗を続ける老雄。パルチザンのリーダーとして若い鉄郎を導きながら、父親のような愛情を注ぐ。鉄郎が再びスリーナインに乗り込むのを命を賭けて助ける。

女王プロメシューム

大宇宙に君臨する機械帝国の女王。かつて、その母星・メーテル星とともに、宇宙のはてに滅び去ったはずであったが……。

動乱の時代
いま若者は

あれからまもなく…
に荒廃をきわめていた。
へあの懐しいメーテル
老パルチザンらの協
は再び999にのって、

を背に‥‥
旅立つ！

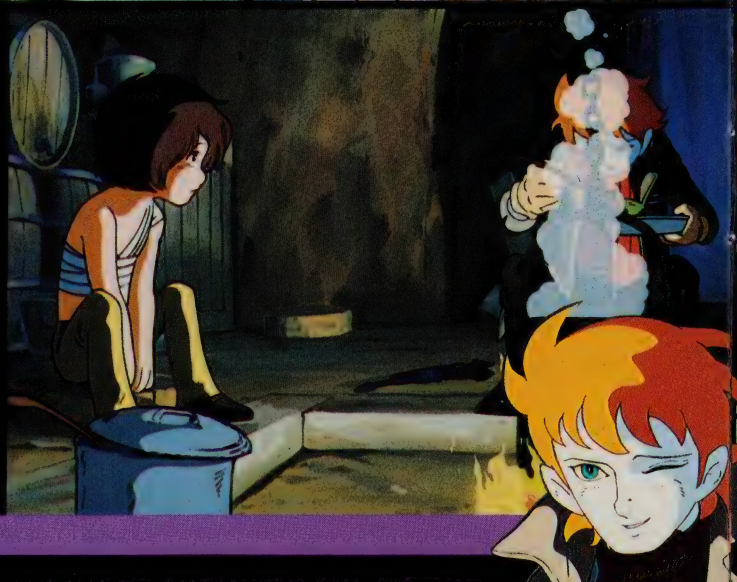
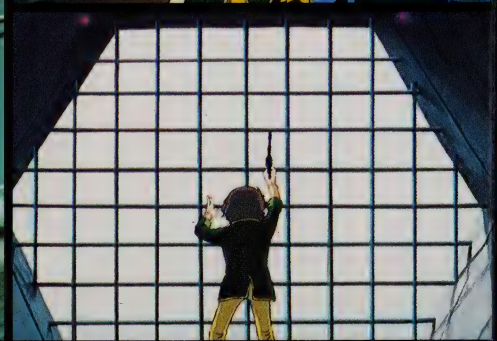
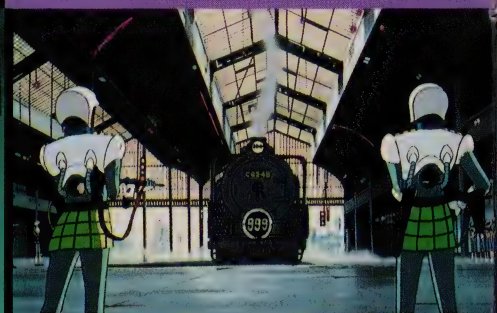
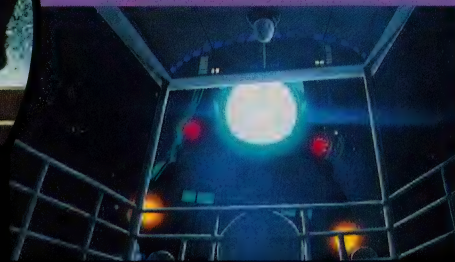
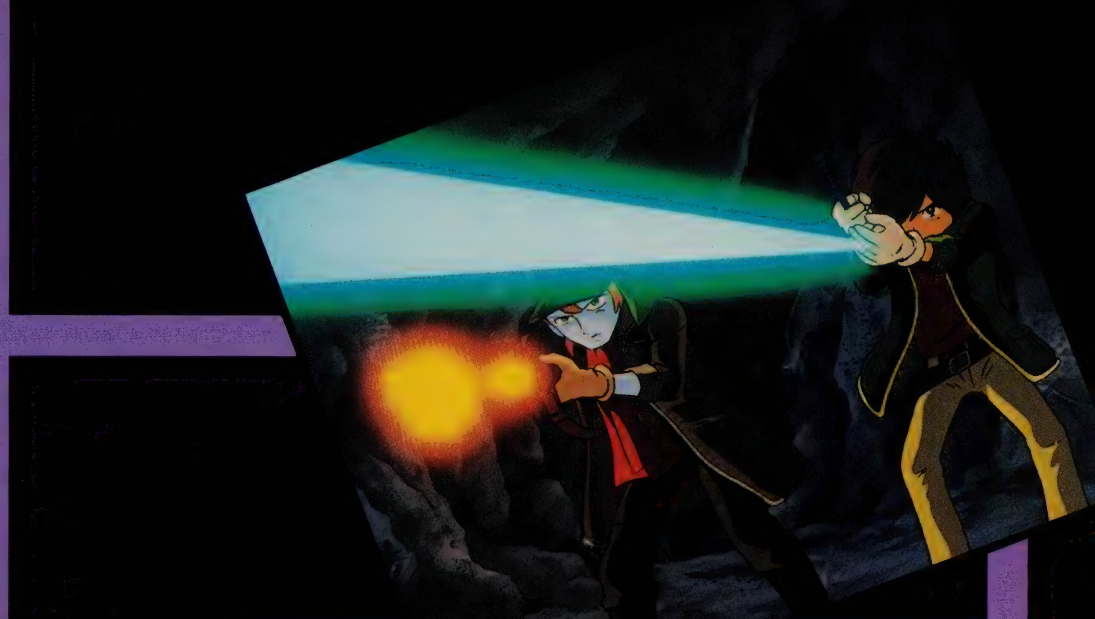
地球は機械化人の侵略
　そんな時、鉄郎の元
からのメッセージが…
力をうけて、若者鉄郎
宇宙へ旅立つ…

「鉄郎…いつか、お前が戻って来て地球を取り戻した時…大地を掘り返したら、わしらの赤い血が流れだすだろう…ここは我々の星だ、我々の大地だ…その赤い血を見るまでは……死ぬなよ…せが…れ……」

「なんだ、知らないのか？メーテルは、プロメシュームの跡をついだって噂だぜ」
「う、嘘だ！そんなバカなことがあってたまるか！」
「オレ、たしかに聞いたんだよ。メーテルがプロメシュームだって！」

同志との出逢
ったメーテル

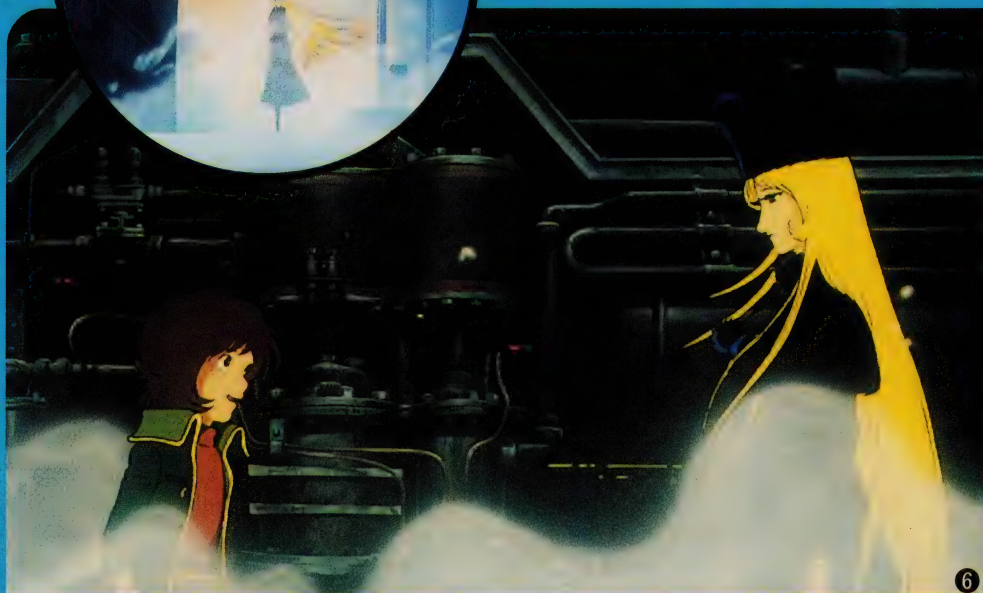
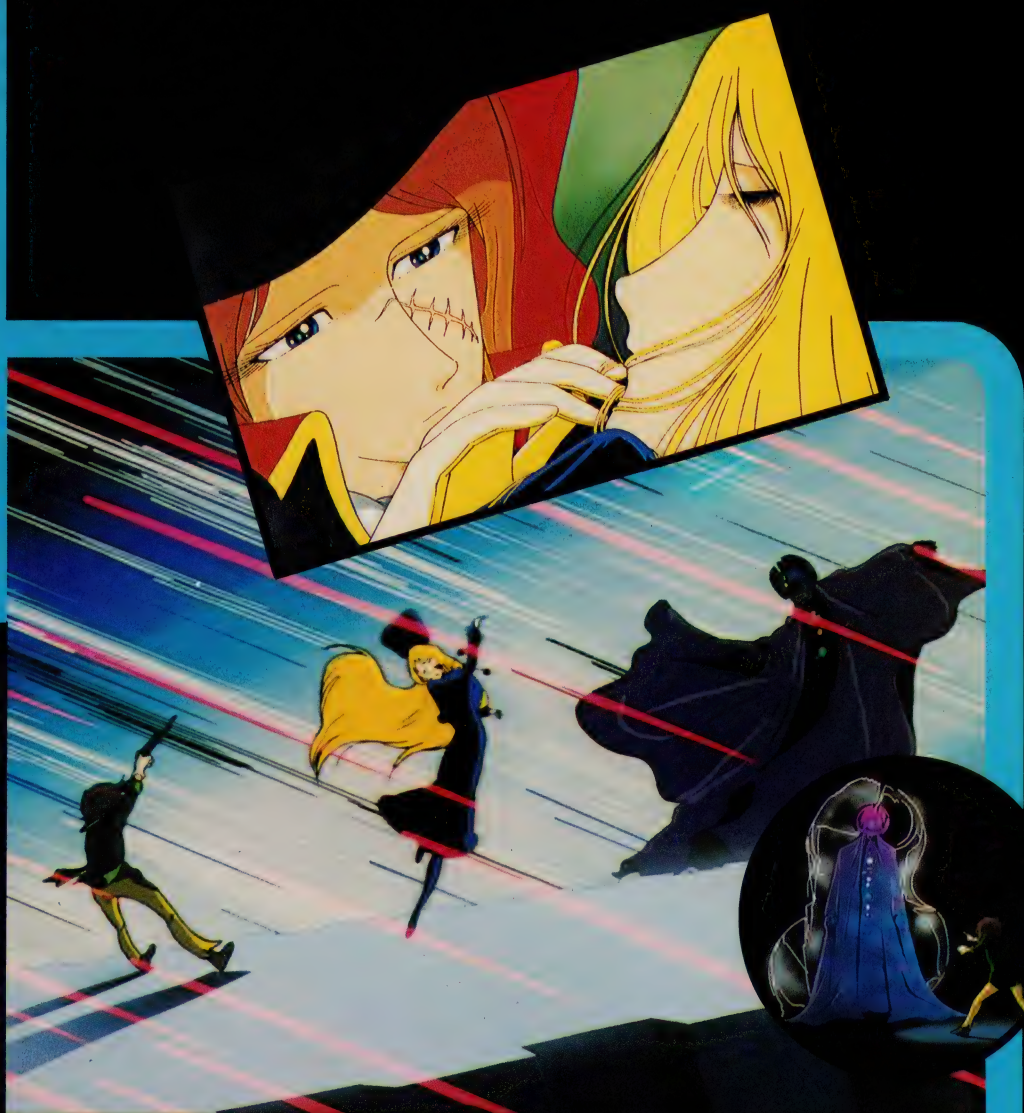
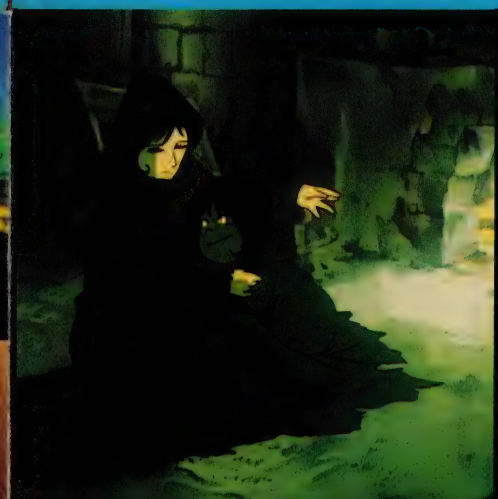
宇宙へ旅立った鉄郎
事件にまきこまれた。
ユーレイ列車の怪、ラ
して助けられた若者ミ
い友情が芽生えた……

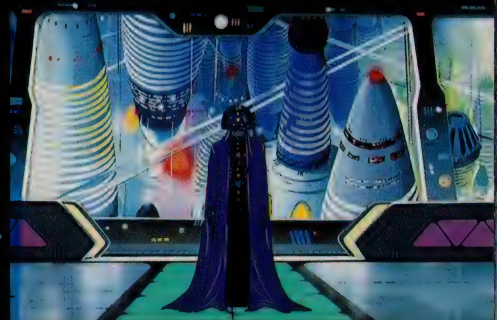
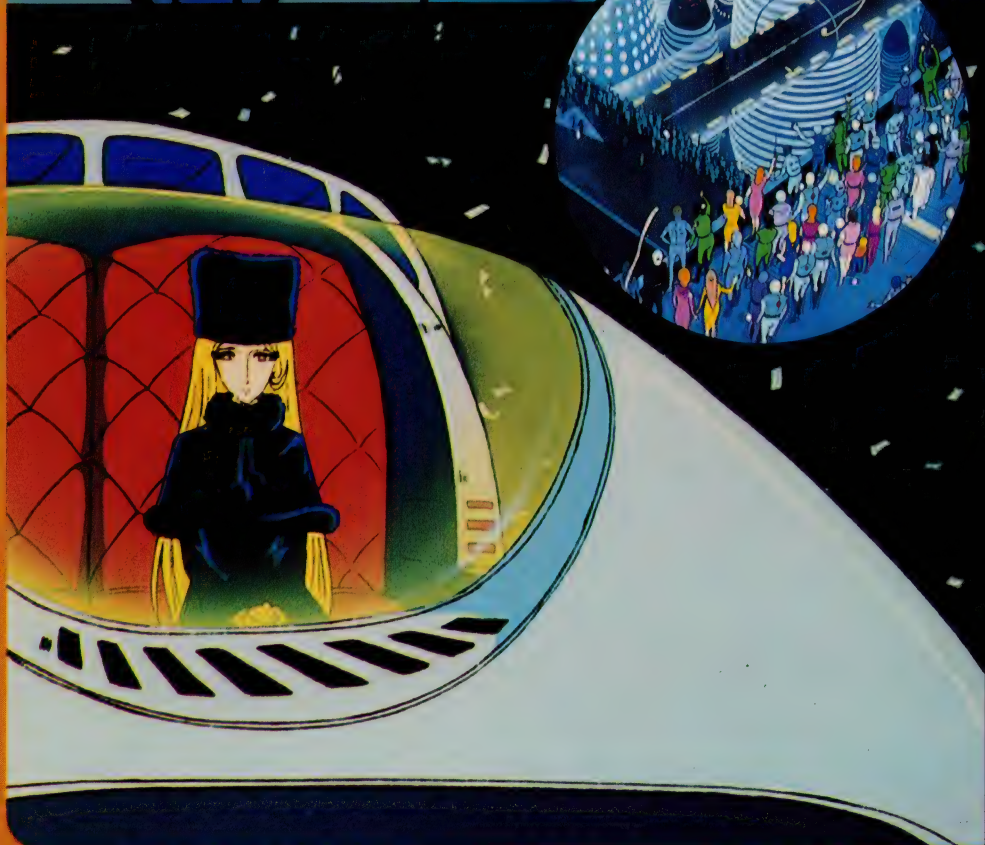
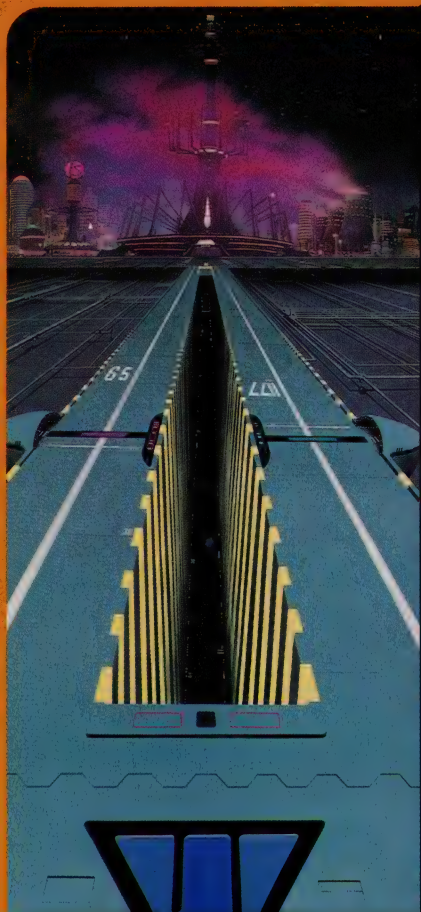
③

逢い、そして知
ルの秘密！
郎は、そこでさまざまな
999の行く手を邪魔する
ラーメタルでの負傷、そ
ャウダーとの間には熱
4
5

メーテルとの
立ちはだか

忘れもしないメーテ
鉄郎だったが、なぜか
をしていた。やがて999
ターへ。そこには不気
迎えていた……

「私、一緒に惑星モザイクで降りてもいい…あなたさえよければ、どこかの惑星で死ぬまで一緒に暮らしてもいい。ね、鉄郎！」

❻

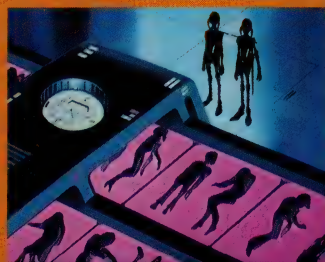
7

テルとの再会。喜び勇む
がメーテルは沈んだ表情
09はコントロール・セン
気味な黒騎士が二人を出

いまこそ、す
秘密が明ら

長い旅の果てに、99
ドロメダについた。メ
された鉄郎の前に、再
そこで鉄郎はその星の
った… そしてミャウ
とも……

べての
かに！

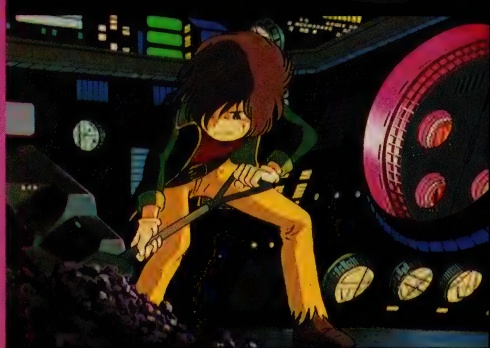
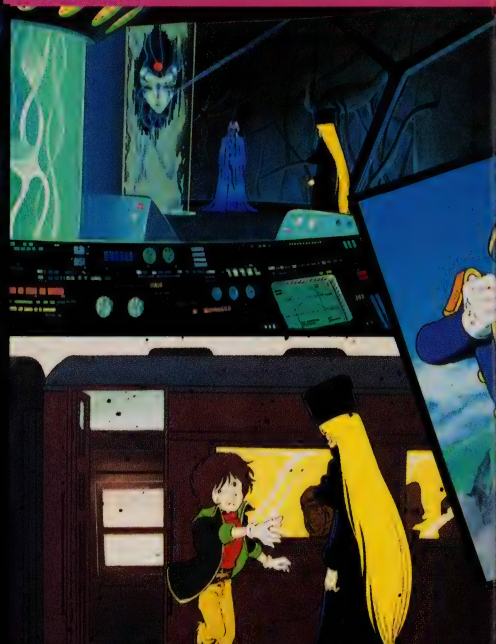
9はついに惑星大アン
ーテルから秘密をきか
び立ちはだかる黒騎士。
おどろくべき実態を知
ダーが殺されていたこ

「男の子が、友だちのために涙を流すのは恥ずかしいことじゃないわ、メタルメナ…」

9

10

「私は青春の幻影、若者にしか見えない、時の流れの中を旅する女…鉄郎の想い出の中に残ればそれでいいのです。さようなら鉄郎あなたの青春と一緒に旅したことを私は永久に忘れません。さようなら…さようなら…」

さらばメー
さらば銀河

最後の、そして最大
倒すために命を賭けた
宿願を果した鉄郎を待
ルとの永遠の別れだっ
は、少年の日との別れ

の敵プロメシュームを鉄郎。そして、ついにっていたのは、メーテた。しかし、その別れでもあった…

時は流れ、メーテルは消えていく
少年の日が永久に還えらないように…
メーテルもまた去って帰らない
人は言う　999は鉄郎の心の中を走った列車だと…
メーテルは少年の胸の中の幻影かも知れない

これが宇宙超特急999の全貌だ！

999の内部メカ解剖図

ハイパワーシールドビーム

排気エネルギー
ブラストノズル

軌道コンパス

コスモレーダー

気圧バルブ

コンピューターアイ

知力燃焼室

総合コンピューター室

エネルギーコンデンサー

←床

流体エネルギータンク

副加圧室

動

第一流体
動力機関

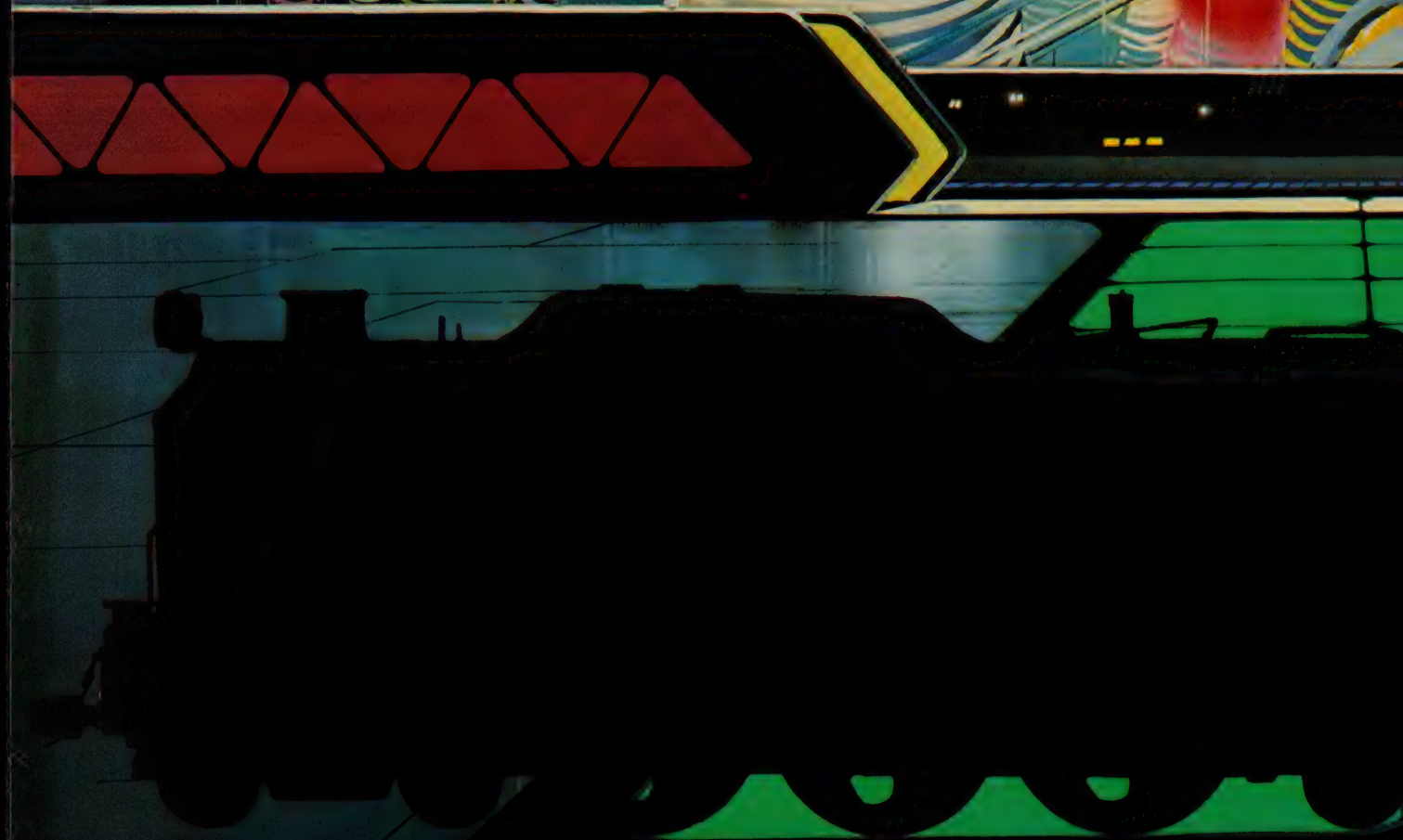
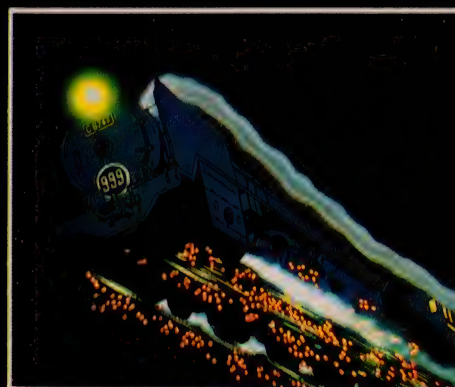
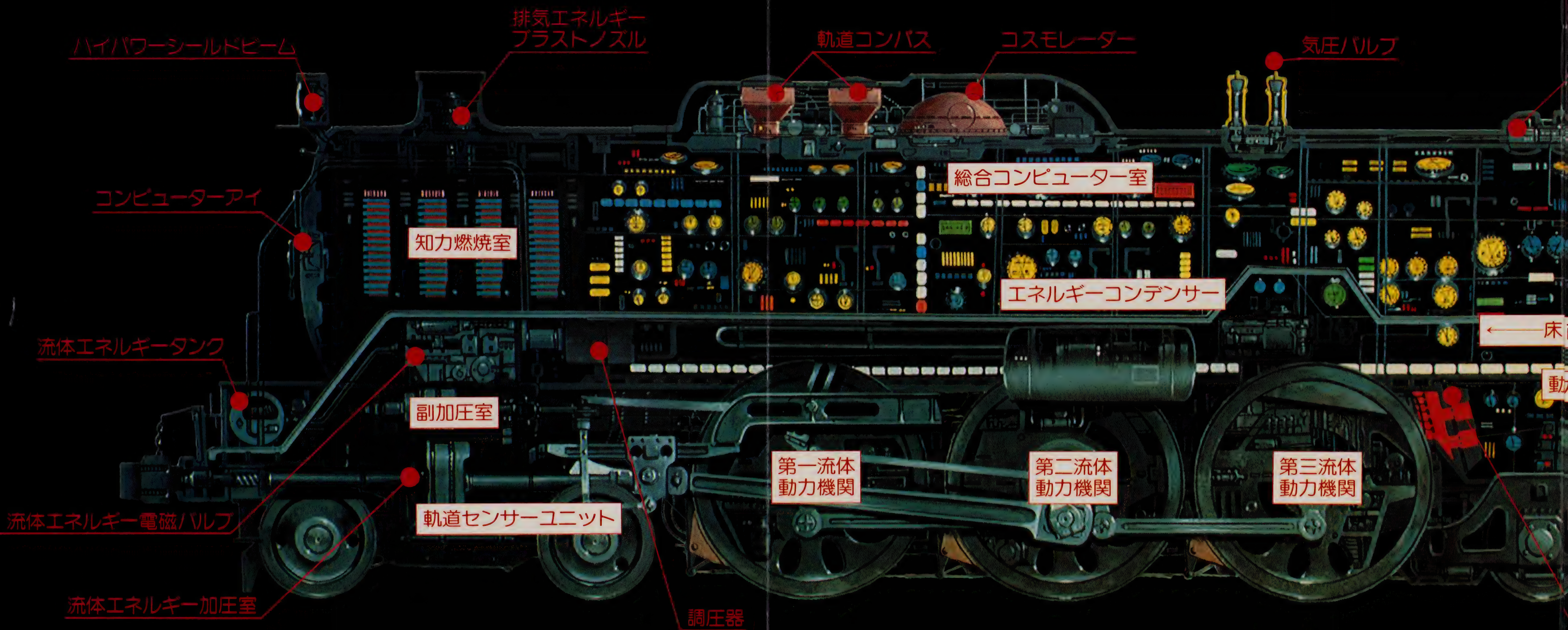
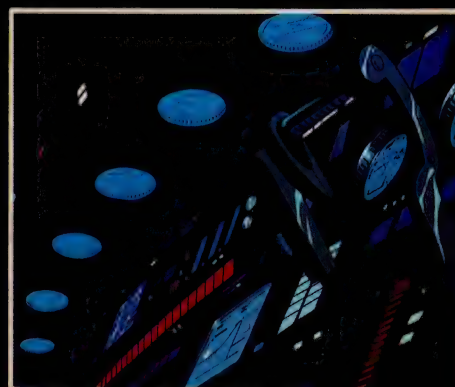
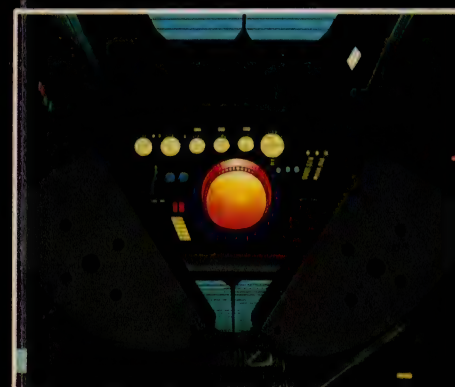
第二流体
動力機関

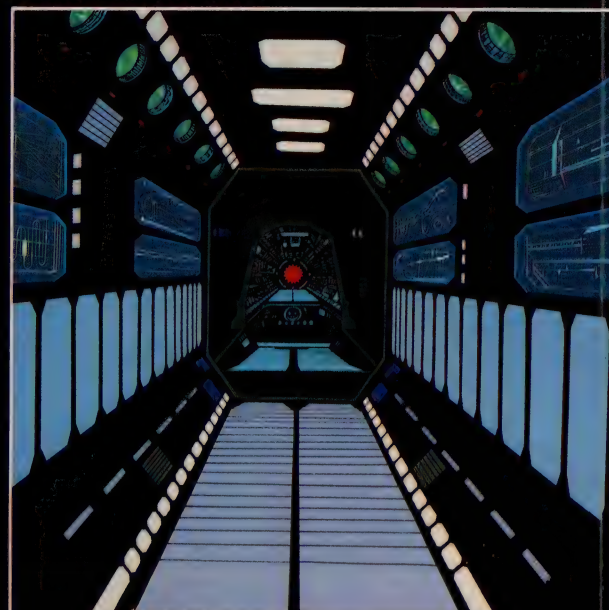
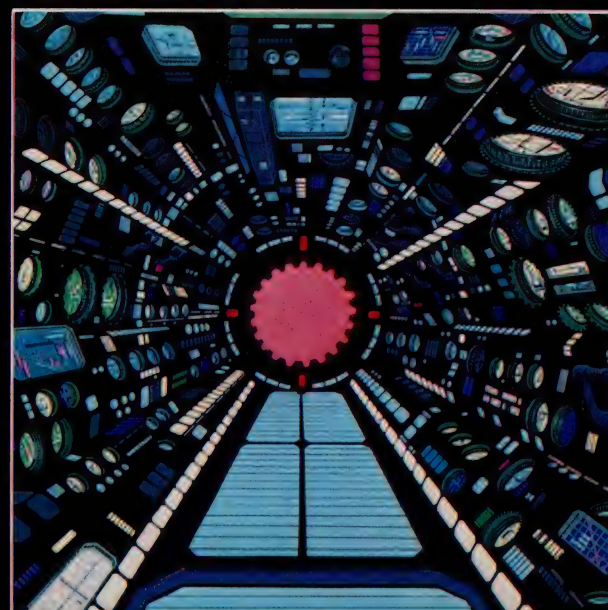
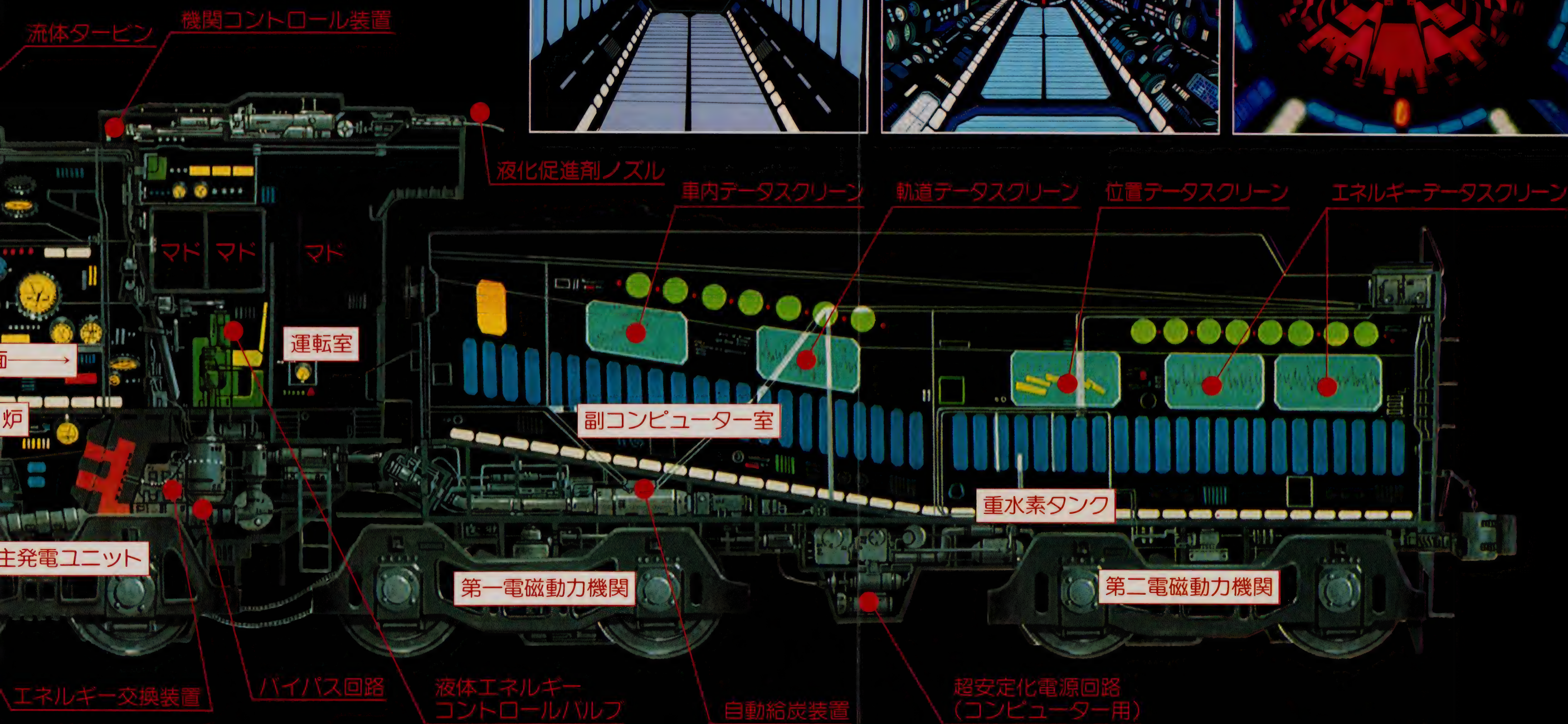
第三流体
動力機関

流体エネルギー電磁バルブ

軌道センサーユニット

流体エネルギー加圧室

調圧器

●宇宙を驀進する999号

●機関車内部操作レバー

●機関車焚口

●炭水車入口

■知力燃焼室
999号のコンピューターの演算部にあたる。超高速度計算で発熱するので冷却システムが組み込まれている。

■総合コンピューター室
999号コンピューターのメインユニット、軌道計算からエネルギー消費まですべてのシステムの総合コンピューター。

■動力炉
通常使われない非常時用、手動運転の場合、エネルギー鉱石はバイパス回路を通らず直接この動力炉内部に出てくる(それをスコップでエネルギー交換装置にほうり込む)

■第一、第二、第三動力機関
999号の走行用動力機関

■副コンピューター室
999コンピューターのデーターバンク、通常軌道計算のみを行っている。

■第一、第二電磁動力機関
通常は、この部分で直接発電を行っている。非常時の場合(機関車の三つの動力機関が使えない場合など)この動力機関だけで、ある程度の走行が可能。

銀河鉄道９９９号は、地球　アンドロメダ間を往復する超近代化宇宙列車である。

耐エネルギー無限電磁バリヤーによって防護され、その内部には、人類の知恵を超越した超近代的なメカニズムが組み込まれているが、外観は乗客の心がやすまるように、前近代的な蒸気機関車Ｃ6248と、昔懐しい客車に仕立てられている。これは最後まで残った貴婦人といわれる有名なＳＬである。

メカニズムは、外宇宙の滅亡した科学惑星の遺跡や異星人から入手した資料をもとに設計された。機関部はコンピューターの頭脳を持つ思考のできる機械であり、機関部は自分自身で判断しながら、定められた宇宙軌道とタイムスケジュールに従って、安全に列車を牽引する。特に、オート・コントロールから手動式に切りかえることもできる。

列車編成は、近代化された機関車を先頭に、十数両の客車(一等と二等)、寝台車、食堂車、娯楽車、医療車、車掌室、図書室などからなる。また、時には客車や装甲車などを増結したり、切り離したりするため、車両数は一定していない。今回、登場してくる９９９には、浴室つきの客車も描かれる。

時速	3000宇宙キロ
馬力	220万コスモ馬力
動力機関	超次元機関ボイラー
重量	210トン

メカ設定集

この映画には、さまざまな新しいメカが登場する。中でもユーレイ列車は今までにない興味あふれるメカだ、その他、映画に活躍する楽しいメカとそれぞれのデータをご紹介しよう！

①999号

- 動力　三連流体動力機関（超次元機関ボイラー）
- 武装　ナシ
- 馬力　220万コスモ馬力
- 重量　210トン
- 時速　3000宇宙キロ
- 全長　20.55メートル（炭水車を含む）

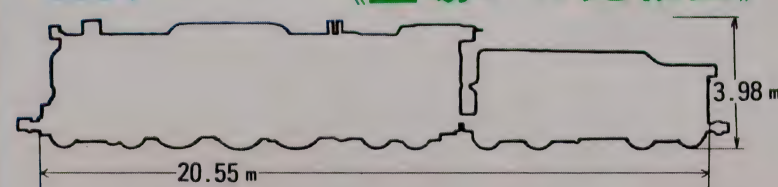
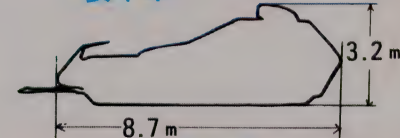
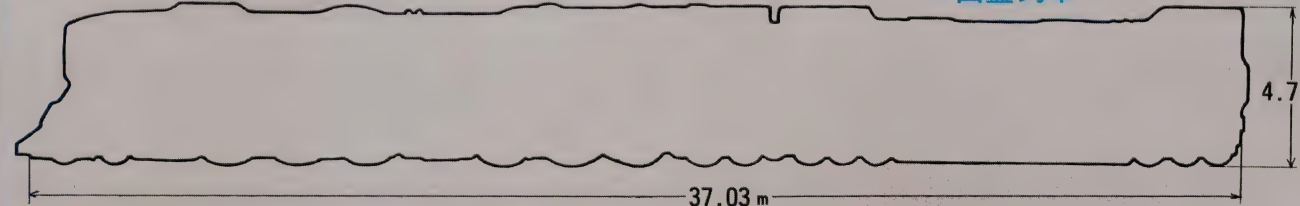
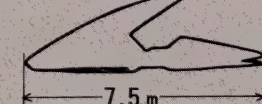
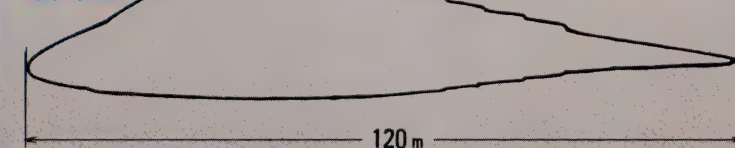
②幽霊列車

- 動力　重力波ターボ推進機関
- 武装　機関車本体には特にないが頭部より超振レーザー発射可能。
- 馬力　790万コスモ馬力
- 重量　510トン
- 全長　37.03メートル（炭水車を含む）

③巨大戦斗衛星

- 動力　光圧波タービン機関
- 武装　遠距離対空センサー×２
  近　〃　〃　×１
  レールガン、ミサイル発射管×２
  本体頭部に戦斗用コンピューター４基
- 馬力　1920万コスモ馬力
- 重量　28,000トン
- 全長　90メートル

《登場メカ比較図》

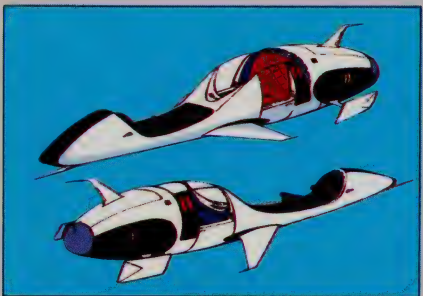
999号
3.98ｍ
20.55ｍ
装甲車
3.2ｍ
8.7ｍ
エア・サイドカ
2.5ｍ
幽霊列車
4.7ｍ
37.03ｍ
一人乗
戦斗艇
120ｍ
7.5ｍ
ガニメデ（女王陛下の戦斗機）

④戦斗艇

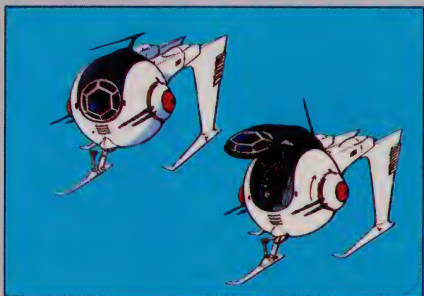
- ●動力　重力波推進機関
- ●武装　ハイビーム振動ガスレーザー砲×2
  遠距離イオンレーザー砲×2
  超振動レーザー砲×1
- ●馬力　2200万コスモ馬力
- ●重量　1900トン
- ●全長　120メートル

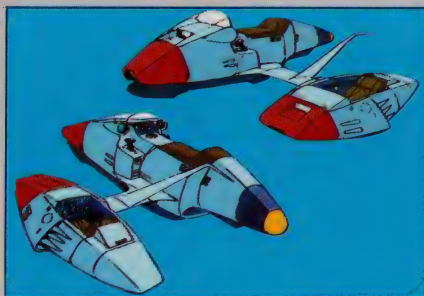
⑤装甲車

- ●動力　電磁タービン機関
- ●武装　大型センサー・レーダー×1
  スーパー・サーチライト×1
  40MMガス・レーザー砲×1
  20MM　レーザー砲×1
- ●馬力　3200馬力
- ●重量　85トン
- ●全長　8.7メートル

⑥女王陛下の戦斗機 ガニメデ

- ●動力　重力波タービン機関
- ●武装　振動ガスレーザー砲×2
  対空センサー　×1
- ●馬力　1200馬力
- ●重量　19.5トン
- ●全長　7.5メートル

⑦マシン・リムジン

- ●動力　小型光圧波タービン機関
- ●武装　ナシ
- ●馬力　不明
- ●重量　16トン
- ●全長　9.2メートル

⑧一人乗り戦斗ヘリ

- ●動力　熱ファン・ターボ機関
- ●武装　指向型センサー×1
  二連レーザー砲塔×2
- ●馬力　820馬力
- ●重量　12.5トン
- ●全長　4.4メートル

⑨エア・サイドカー

- ●動力　ガス・ターボエンジン
- ●武装　ナシ
- ●馬力　95馬力
- ●重量　0.25トン
- ●全長　2.5メートル

「さよなら銀河鉄道

❶基本構成を練る松本零士さん

「銀河鉄道999」は松本零士さんの青春の思い出から生まれた！

企画から完成まで、製作スタッフ約400人が参加して製作された、「さよなら銀河鉄道999」は松本零士氏、高見義雄プロデューサー、りんたろう監督を初めとする製作スタッフ全員が、情熱を傾けて製作した完結編。いま公開され、皆さんの胸の中に熱い炎をともしたスリーナインが、どのようにして製作されていったか、その記録をご紹介しましょう。

●1980年

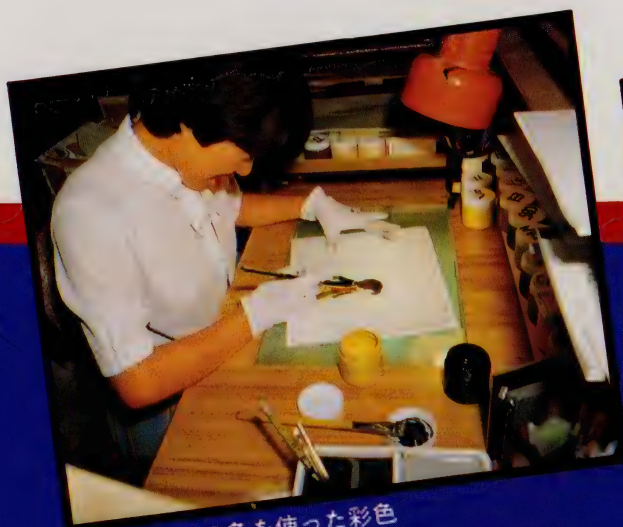
2月　松本零士先生から完結編をつくりたいという話がもちあがりました。それは前作がヒットしたという理由ではなく、前作では機械帝国についての問題が何ひとつ解決されていなかったこと、また今まで謎になっていたすべての部分を明らかにしたいという理由からでした。つまり、原作の連載、テレビ版、劇場映画すべてを含めての「完結編」という話でした。東映動画社内で検討がなされ、すぐに準備に入りゴー・サインが出るや、松本零士先生は今までのメモと温めてきた**構想**をもとに更に綿密な構成の作成に入りました。丁度この時期、「ヤマトよ永遠に」の製作、キャンペーンが盛んに行なわれ、「1000年女王」の新聞連載が開始されるなど、松本先生にとっては殺人的なハードスケジュールの時期でした。**7月**　4日から丸々4日間、新宿京王プラザホテルにカンヅメ同様になった松本零士先生、企画の有賀健、高見義雄の両氏によって35枚の**基本構成案**が誕生。

10日も経たない16日、何度も目を通したためヨレヨレになった基本設定案のコピーを手にした脚本家の山浦弘靖氏、りんたろう監督が参加し、テーマについての検討、第一作の魅力の洗い出し、どのようにそれを生かし新たな魅力を加えるか、また基本的な構成、キャラクター、場面設定などの検討が開始されました。松本零士先生の仕事場や動画スタジオ、都内のホテルなどと転々と場所を変え、連日討論につぐ討論がくり返され、暑さも加ってダウンするメンバーも出たほど。

11月　やっと**脚本決定稿**があがりました。改訂に改訂を加え、第6稿を数えるまでになっていました。すぐに、りんたろう監督によって**絵コンテ**切りが開始されました。

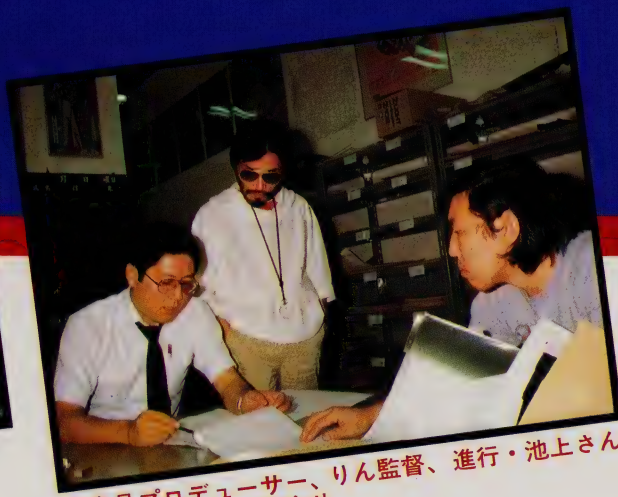
絵コンテ作業と並行して、**新キャラクター**、**メカ設定**、**美術色彩イメージ**の資料集めの検討がはじまりました。打合せに参加したのはりんたろう監督、小松原一男作画監督、椋尾篁美術監督、高見義雄プロデューサー、そして松本零士氏です。

椋尾氏は、基本構成案、脚本などを読んであたためていましたが、ボイジャー1号が土星に大接近し、その姿がテレビで放送されるや、イメージが固定されてしまう恐れを感じ、新たなイメージをと、大あわてで練り直しを始めたほどです。

12月　主要新キャラクター以外が決定されたところで、絵コンテ切りと同時進行の形で**原画**の製作に入りました。小松原氏は2年振りということもあってか、作画したメーテルが少しイロッポクなって、何か女性観に変化があったのかと、ス

❹100種以上の色を使った彩色

❺スタジオ内のカメラ全部を使っての撮影

999」の出来るまで《汗と涙と笑いのスタッフルーム密着レポート》

❷松本零士さんを交えての熱のこもった打合せ

❸高見プロデューサー、りん監督、進行・池上さんのスケジュール打合せ

タッフに冷やかされるといったひと幕もありましたっけ！

●1981年

1月　原画の進行に合わせて、**動画**製作に入ったのは1月末でした。りん監督はファンタスティック、プラス映画としてのダイナミックさという点をスタッフに強調し、小松原氏も前作の欠点を補う気持で、動画枚数を増やしてもう少し芝居をとか、創意工夫をこらしていました。製作現場は次第に、緊張感を漂わせ始めていました。

またこの時期、松本零士氏は全体のキーポイントを握るキャラクター・黒騎士の4回目を描き、高見プロデューサーはこの原稿をもらうため、1月だけでも9日も松本先生のスタジオに泊り込み、運動不足で腹が出てきて嘆くというオマケも……。

2月　鉄郎が自力で999号を運転して危機を脱出するクライマックス・シーンのため、スタッフ一同は京都梅小路機関区を取材し、本物の機関士の方からC62の運転方法を教わりました。ダイナミックな臨場感、リアル感は、この取材の成果です。

動画チェックを通過したカットが、**ファックス、トレース、彩色**へと回されていきました。

3月　**絵コンテ**1200カットが完成。細部まで描き入れた精密なもの。11月の開始から4ケ月、その気の入れ方のためか、かきあげたりん監督はヒゲに白髪が出てビックリ。

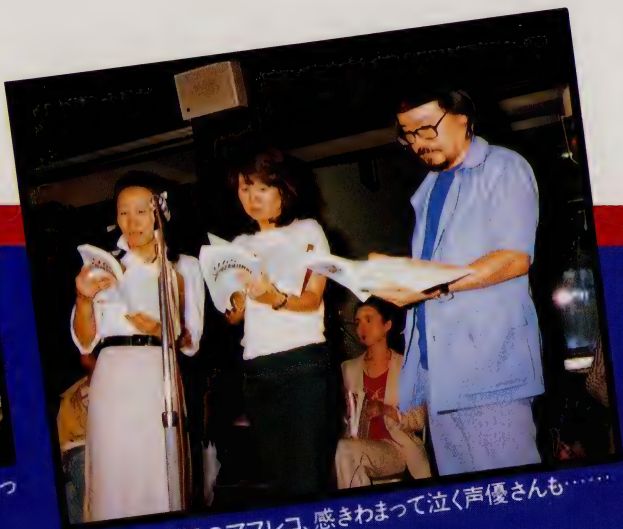
4月　東映動画スタジオ内のカメラ全部を占拠しての本格的な**撮影**に入りました。他の作品のスタッフがぼやくことしきり。

5月　29日、コロムビア第1、第2スタジオを使っての**音楽録り**が行なわれました。東海林修氏の作曲による純粋なクラシックスタイルによる本格的超大作です。第1、第2スタジオを使うため、モニターテレビを6台も揃えての大録音です。息をつめて見守る製作スタッフを前に、壮大な音楽が鳴り響きました。

6月　膨大なラッシュからの**編集**作業に入りました。また、26、27、28日の3日間、この編集ラッシュをもとに**アフレコ**が行なわれました。今回、黒騎士役として新らしく起用された演劇俳優の江守徹氏を交えての録音です。3日目の深夜、ラストシーンでは鉄郎とメーテルの別れに、感極って皆が泣いてしまい、中断されるといったハプニングも…。

7月　ついに初号完成。22日、渋谷パンテオンにて完成披露試写会が行なわれ、マスコミの方々も大きな拍手を贈っていました。

そして8月、ついに全国公開となったわけです。

❻いよいよ編集、スタッフ全員の意気込みが伝わってくる

❼緊張と熱気のアフレコ、感きわまって泣く声優さんも……

企画・原作・構成
松本零士

昭和13年1月25日福岡県小倉に生まれる。

昭和29年、高校1年のとき投稿した『密蜂の冒険』が、「漫画少年」に初めて掲載される。高校卒業後上京、文京区本郷三丁目で下宿生活をしながら、少女漫画を描き始めた。昭和43年4月SF漫画、『セクサロイド』の連載を開始、以降、少年誌、青年誌で作品を次々に発表していく。その後、最も得意な分野であるSF漫画『四次元世界』、本郷下宿時代の体験を見事に結実させた傑作『男おいどん』などで、熱狂的なファンを得る。

作品の分野も実に幅広く、初期の「少女漫画」から、ファンタジックな「SFもの」、ペーソスギャグ「四畳半もの」、男のロマン「戦記もの」と、その持ち味も様々である。

1979年夏、『銀河鉄道999』が映画化され大ヒット。この作品はTVシリーズ化、少年キング連載など爆発的ブームとなる。その他、『宇宙戦艦ヤマト」「キャプテンハーロック」「エメラルダス」など独特のムードをもったキャラクターを主人公とした作品に人気がある。彼らのなかに共通して流れる《他人からみて、どんなにつまらない生き方であってもいい。自分らしい生き方に徹し、とことん一生懸命な》男性像と、《男の哀しみを知り、男の夢を理解する優しさに満ちた》女性像は、悪魔的磁力でファンを魅了して放さないのである。

今後の映画化予定作品としては82年春には『1000年女王』(TVシリーズ放送4/16より開始)他、もう一本が予定されている。

●スタッフ

製作総指揮……………………今田　智憲
企画・原作・構成……………松本　零士
企　　画……………………有賀　　健
〃　……………………高見　義雄
製作担当……………………大野　　清
脚　　本……………………山浦　弘靖
作画監督……………………小松原一男
美術監督……………………椋尾　　篁
美　　術……………………窪田　忠雄
音　　楽……………………東海林　修
指　　揮……………………熊谷　　弘
監　　督……………………りん・たろう

主 題 歌………………■SAYONARA
■LOVE LIGHT
作詩・作曲………メアリー・マッグレガー
ブライアン・ウィットカム
ディヴィッド・J・ホルマン
歌…………………メアリー・マッグレガー
(サウンドトラック盤・コロムビアレコード)

演　　奏…ロサンゼルス・シンフォニック
スタジオ・オーケストラ

原　　画……………………森　　利夫
〃　……………………野田　卓雄
〃　……………………才田　俊次
〃　……………………金田　伊功
〃　……………………山口　泰弘
〃　……………………後藤　紀子
〃　……………………沼尻　　東
〃　……………………青鉢　芳信
〃　……………………木下ゆうき
〃　……………………横山　涼一
〃　……………………横山　健次
〃　……………………白川　忠志
〃　……………………鍋島　　修
〃　……………………的場　茂夫
〃　……………………金山　通弘
〃　……………………小川　明弘
〃　……………………阿部　　隆
〃　……………………木野　達児
グラフィックアニメーション…相原　信洋
メカニックデザイン協力………板橋　克己
アルカディア号デザイン協力…スタジオ・ぬえ
作画監督補佐……………………新井　　豊

動画チェッカー……………………永井　恵子
動　　画……………………石山　毬緒
〃　……………………金山　圭子
〃　……………………小林　敏明
〃　……………………坂野　隆雄
〃　……………………薄田　嘉信
〃　……………………服部　照夫
〃　……………………山田　みよ
〃　……………………長沼寿美子
〃　……………………青井　清年
〃　……………………野中　和実
〃　……………………松原　京子
〃　……………………久保寺輝彦
〃　……………………亀田真須美
〃　……………………金海由美子
〃　……………………保谷　由佳
〃　……………………岸本　良子
〃　……………………福田　　忠
〃　……………………吉田　健二
〃　……………………河野　宏之
〃　……………………小坂ちえみ
〃　……………………片岡恵美子
〃　……………………伊藤　水穂
〃　……………………茂木久美子

動　　画……………………村上　洋子
〃　……………………松村　啓子
〃　……………………加藤　良子
〃　……………………上野茂々子
〃　……………………玉沢　君子
〃　……………………三浦　弘二
〃　……………………奥野　明代
〃　……………………関口　貴之
〃　……………………陶山　佳枝
〃　……………………高坂希太郎
〃　……………………垂乳根博文
〃　……………………友永恵美子
〃　……………………江野沢柚美
〃　……………………芹田　明雄
〃　……………………田中　　勇
〃　……………………渡辺美和子
〃　……………………浅沼　由紀
〃　……………………青梅　優子
〃　……………………中島　泰代
〃　……………………山田　浩之
〃　……………………井上　弘子
〃　……………………南　　友子
〃　……………………鈴木　弥生
〃　……………………西島　義隆

声優からのメッセージ

池田昌子
（メーテル）

メーテルは、私にとって忘れられない素敵な想い出になりました。別れはとても淋しいけれど、彼女との出会いがすばらしかっただけに、やっぱりそれに似合うような素敵なさよならにしたいと思っています。

肝付兼太
（車掌）

第一作・第二作とも最高に楽しく仕事が出来てとてもうれしかった。私の正体いかがでしたか？まあ、こわいですね。しっかり見て下さいましたね！でも、これで本当に“さよなら”なんですね。はい、さよなら、さよなら!!

富山　敬
（ミャウダー）

今回は、ミャウダーという鉄郎の親友役をいただき感激しています。ファンの方々とはさよならですが、おしまれながらお別れするのもいいでしょう。最後の999を、心の中にいつまでもいい思い出として残して下さい。

野沢雅子
（星野鉄郎）

最後の録音が終ったとき、これで鉄郎君とは本当にお別れなんだなと思い、彼は私の中で永久に生きてゆくんだなとも感じました。みなさんにも、青春の思い出として鉄郎君と一緒に齢をとってもらいたいな！

井上真樹夫
（キャプテン・ハーロック）

ハーロックは無口で口数の少ない役で、イメージだけでずっと演技をしてきました。もっとぺらぺら喋りたかったけれど、もうお別れです。でもね満足していますよ、なぜならいい男というのはあまり喋っちゃいけない！

来宮良子
（プロメシューム）

一作目で一度死にまして、今回は二回目の死ということになっています。肉体は滅びてもエネルギーは残るというところです。作品とはさよならですが、「999号」のエネルギーはみなさんの心の中に永遠に残るでしょう。

麻上洋子
（メタルメナ）

銀河鉄道999は、これで完結してしまいました。でも、このフィムルこの大作は決して世の中からまでなくなってしまうのではなく、必ずいつもどこかで上映されていて誰れかの心を感動させつづけていくでしょう。

田島令子
（クイーン・エメラルダス）

まだ終っていない感じがします。また別な形で続いてくれたらというのが本心です。それほど素晴しい作品でした。エメラルダスにはまた会いたい、出逢いは終りのない旅のようなものなのではないでしょうか！

江守　徹
（黒騎士）

アニメ初体験の私も、黒騎士のカッコ良さに一目でホレました。でも、最終回の作品と聞いてとても残念に思いました。こんな素晴しい作品に出逢えたことは、これからの仕事の上でいい思い出になることでしょう。

動　画……山本美奈子
〃……青島　正和
〃……佐藤　博明
〃……石津　和子
〃……本宮　真弓
〃……野口　昇子
〃……佐藤　恭子
〃……飯澤ひろみ
〃……大島　孝美
〃……浦川　裕子
〃……篠崎　俊克
トレース……黒澤　和子
〃……坂野　園江
〃……五十嵐令子
〃……入江三帆子
彩　色……村田　邦子
〃……山内　正子
〃……山田　純子
〃……佐藤　道代
ゼログラフ……富永　勤
〃……林　昭夫
特殊効果……浜　桂太郎
〃……河内　正行
仕上検査……塚田　劭

仕上検査……森田　博
背　景……中山　益男
〃……鹿野　良行
〃……河野　尋美
〃……安藤　洋美
〃……本間　薫
〃……加藤　明美
〃……加藤　景
〃……池畑　祐治
〃……小林　祐子
〃……山川　晃
〃……山本　二三
〃……山下由美子
監督助手……吉沢　孝男
記　録……池田紀代子
製作進行……楠美　直子
〃……江幡　宏之
仕上進行……平加　豊彦
美術進行……阿久津文雄
進行主任……池上　悟
撮影監督……高梨　洋一
〃……町田　賢樹（補佐）
撮　影……片山　幸男
〃……池田　重好

撮　影……細田　民男
〃……清水　政夫
〃……目黒　宏
〃……武井　利晴
〃……相磯　嘉雄
〃……福井　政利
〃……帯刀　至
〃……坂西　勝
編　集……花井　正明
〃……大熊　泉（助手）
録　音……二宮　健治
〃……市川　修（助手）
効　果……松田　昭彦

録音スタジオ……タバック
現　像……東映化学

宣伝プロデューサー……徳山　雅也
宣　伝……野口　敦夫
〃……浅川　恭行
〃……橋本　悦雄
プログラムエディター……池羽　規夫
プログラム・デザイン・レイアウト……原　美恵子

●声の出演

星野鉄郎……野沢　雅子
メーテル……池田　昌子
メタルメナ……麻上　洋子
東　掌……肝付　兼太
キャプテンハーロック……井上真樹夫
クイーンエメラルダス……田島　令子
ミーメ……小原乃梨子
有紀　螢……川島千代子
機関車……柴田　秀勝
鉄郎の母……坪井　章子
ミャウダー……富山　敬
プロメシューム……来宮　良子
ゲリラ隊長……大塚　周夫
老パルチザン……森山周一郎
ナレーター……城　達也
黒騎士……江守　徹

発行　東映株式会社映像事業部◆企画・編集　株式会社メイジャー

製作うらばなし

■製作スタッフ・ルームは不夜城？

「銀河鉄道999」完結編の製作が決定して脚本作りに要した日数は４ヵ月(５稿)。各シーンの設定作りに３ヵ月。約六万枚の作画に６ヵ月。色をぬり背景を描き、一ゴマ一コマ撮影するのに約２ヵ月。編集・録音に40日間と気の遠くなるような人海戦、東映動画の総力を挙げての一年間の作業です。スタッフ・ルームにある３つのストーブもいつしか冷房にかわり、それも昼夜の間なく回りっぱなしの毎日で、スタッフ一同、モグラのような生活を一年間つづけました。おかげでこの仕事にかかってからというもの外にも出ず、一年は夢のようにすぎ、みんな仙人みたいになるのです。

■松本零士氏、C62機関車を運転!?

映画のクライマックス10数分という長丁場にわたって、主人公鉄郎が自力で999号(C62-48)を運転して危機を脱出するシーンがあります。松本先生をはじめスタッフは京都の梅小路機関区にロケハンし、機関車運転のしくみを勉強、ビデオに撮って分解して作画の作業をしました。「ダイナミックな臨場感はこれでいける！　C62が実際に空を飛べるなら僕は運転出来る。」と松本先生、空を見上げて想いをはせていました。その想いは映画のフィルムで充分生かしますと小松原作画監督の弁。

■リアルさ抜群！星の海を飛翔する銀河鉄道の感動シーン

クライマックスに突入していく999号。２分以上の長いカットを一コマ撮り撮影。24コマ(１秒)×150秒＝3,600コマを三人のカメラマンが一日がかりで撮影。一コマでも間違えば全てやり直しの作業、絵の具が噴出するような実験的なイメージカットにチーフの高梨カメラマンも必死！

又、前作に比し今回の作品はカットが長いのが特徴（前作は約1600カット、今回は約1200カット）ですが、監督のりん・たろう氏は、じっくりとした感情表現を狙い、厚みのある画面作りに意を注いでいます。前作の情感あふれる画面に加えて背景もお芝居をする椋尾美術をゆっくりとご観賞下さい。

SAYONARA

唄/メアリー・マッグレガー
Lyric：Mary Macgregor
Music：Mary Macgregor & Brian Whitcomb

SAYONARA, SWEET MEMORIES
IT'S GOODBYE
SAYONARA, DON'T LOOK BACK
DON'T ASK WHY
THE TIME TO COME WILL COME
AND YOU WILL GO ALONE
KEEP TO YOUR HEART
SAYONARA

AND SO MY FRIEND
NOW IT MUST END
NOW YOU ARE GROWN
I CAN'T STAY ON
THINK OF THE MEMORIES WE'VE KNOWN
CAREFULLY FEELING YOUR WAY
YOU'RE GETTING STRONGER EACH DAY
HOW CAN I FIND WORDS TO SAY
I'LL MISS YOU

SAYONARA, SWEET MEMORIES
IT'S GOODBYE
SAYONARA, DON'T LOOK BACK
DON'T ASK WHY
THE TIME TO COME WILL COME
AND YOU WILL GO ALONE
KEEP TO YOUR HEART
SAYONARA

THE TIME TO COME WILL COME
AND YOU WILL GO ALONE
KEEP TO YOUR HEART
SAYONARA

SAYONARA, SAYONARA, SAYONARA(to fade)

LOVE LIGHT

唄/メアリー・マッグレガー
Lyric：Mary Macgregor
Music：David J Holman & Brian Whitcomb

YOUR EYES
THEY SHINE
WITH A LOVE LIGHT

YOUR JOY
IS MINE
IN A LOVE LIGHT

TURN NIGHT
TO DAY
WITH A LOVE LIGHT

TAKE ME
AWAY

SHINING SHOWER
ENDLESS POWER
LOVE LIGHT

日本語盤 SAYONARA

唄・かおり くみこ
訳詞：冬杜花代子

さようなら
その時が来たのです
さようなら
その理由(わけ)は聞かないで
時の流れが決めたお別れ
愛しても　さようなら

この日が来るのがこわかった
この愛も明日(あした)は届かない
あなたを胸に抱いていたいけれど
かなわぬ夢ね　いとしいひと

さようなら
思い出が残るだけ
さようなら
ふりむかずゆきなさい
あなたはいま強くなって
旅発つの　さようなら

あなたを胸に抱いていたいけれど
かなわぬ夢ね　いとしいひと

さようなら
その時が来たのです
さようなら
その理由(わけ)は聞かないで
時の流れが決めたお別れ
愛しても　さようなら

さようなら
あなたはいま強くなって
旅発つの　さようなら

お・知・ら・せ

●プログラムに掲載されている写真を実費販売します。

このプログラムの中で番号のついている写真をご希望の方は現金書留または郵便切手で映画名・ご希望の写真番号およびサイズを明記してご注文下さい。
（例　さよなら銀河鉄道999　1ポストカード1枚）
ご注文の受付は昭和56年9月末日までで締切ります。

●販売価格（送料を含む）

	ポストカード	6ツ切	4ツ切
カラー スチール	14.3cm ×9.9cm	24.0cm ×19.0cm	29.0cm ×24.0cm
	￥300	￥1.500	￥2,000

●Tシャツ（さよなら銀河鉄道999）も通信販売します。

1枚　￥1,800　★送料（1枚につき240円）をそえて現金書留でお申し込み下さい。

●お申し込み・お問い合せは　東映株式会社・映像事業部商品事業室
東京都中央区銀座3－2－17（〒104）☎03（535）4641

限定版発売中　東映創立30周年記念「東映映画三十年 あの日あの時あの映画」　A4版・320頁・上製本・豪華映画ポスターのポスターつき　￥7,000（送料1冊につき400円）現金書留で上記へ。